

Economic

コラボラベル八仙製造

八戸酒造 × アイエスエフネット(東京)

グローバル人材獲得、商品や八戸PR狙う

八戸酒造(八戸市、駒井庄三郎社長)と、国内外でITインフラ業などを手がけるアイエスエフネット(東京、渡邊幸義代表)が、世界展開に向けて異業種間でコラボレーションを始めた。八戸

酒造がアイ社のラベルを貼った陸奥八仙を造り、アイ社が海外や国内の顧客に配布。八戸酒造は商品や八戸のPR、アイ社はグローバル人材獲得への効果に期待を寄せている。(出川しのぶ)

世界展開へ日本酒効果期待

八戸酒造の駒井秀介専務とアイ社の本村誠基取締役役に交流があったことがきっかけで、アイ社がブランディング戦略の一環として製造を依頼した。八戸酒造は青森県内の企業や学校の特別ラベルを手がけたことはある

が、世界に拠点を持つIT企業は初めてだ。アイ社がデザインしたラベルを貼り付けた八仙の「華想い50純米大吟醸」を300本製造。アイ社は昨年12月のシンガポールの新拠点開設時に現地の来場者に振る舞ったほ

か、年末年始に国内の顧客に贈った。アイ社によると、分野が違う企業のコラボは「素晴らしい考え」などと好評だという。今後さまざまな場面で活用し、追加発注も行う予定だ。

日本文化に興味がある外国人は多いといい、日本酒を通して自社の事業に興味を持ってもらいたい考え。マーケティング本部の上沖沙恵副部長は「グローバルビジネスの拡大に向けた思いは八戸酒造と共通。現地のエンジニア獲得に効果があれば」と語る。

八戸酒造は現在、22カ国に八仙を輸出する。駒井専務は「企業PRに八仙を使ってもらえるのはありがたい。八仙や八戸を知ってもらうきっかけになれば」と新たな販路拡大につながることを期待する。



八戸酒造とアイエスエフネットがコラボレーションした陸奥八仙(アイ社提供)